

ProcessX Web  
**更新インストール手順**

Ver.2

## ProcessX Web 更新インストール手順 改訂履歴

2016 年 02 月 01 日	Ver.2.0.0 版として作成
2016 年 07 月 01 日	Ver.2.0.1 版として作成
2016 年 08 月 25 日	Ver.2.0.2 版として作成

このマニュアル内容に関するお問い合わせ先

株式会社 ジェイシエル プロダクト部

〒101-0032

東京都千代田区岩本町 3-11-8 イワモチョウビル

TEL 03-5822-2243

<http://www.yu-icl.co.jp/pxw>

サイト内にお問い合わせフォームがあります。

## 目次

1	更新インストール手順 .....	3
1.1	更新インストールとは .....	3
1.2	更新インストーラの用意 .....	3
1.3	更新インストーラの実行 .....	5
1.4	Web ブラウザのキャッシュのクリア .....	6
2	困ったときには .....	9

# 1 更新インストール手順

## 1.1 更新インストールとは

ProcessX Web は、機能追加や不具合修正のために、更新されたバージョンが提供されます。

使用中 ProcessX Web プログラムを更新するには、ProcessX Web のサイトから更新プログラムのインストーラをダウンロードします。

入手したインストーラが、現在使用中の ProcessX Web のバージョンより新しいことを確認してください。

使用中の ProcessX Web のバージョンの確認方法は、別冊のシステム管理マニュアル「3.5 ライセンス情報」の項を参照してください。

更新インストールには、次の 2 通りがあります。

<b>バージョンアップデート</b>	新しい機能に対応したバージョンに更新します。 年間サポート契約が有効であることが必要です。 バージョン番号 2.x.x.x の 4 個の数字のうち、最初の 3 個がバージョンを示します。
<b>リリースアップデート</b>	同一バージョンで、不具合対応などの修正版に更新します。 年間サポート契約がなくても更新できます。 バージョン番号 2.x.x.x の 4 個の数字のうち、最後の数字がリリースを示します。

バージョンアップデートは、年間サポートが有効な場合のみ実施できます。  
サポート契約が無効の場合は、アップデートしても起動できないので注意してください。  
リリースアップデートは、年間サポートがなくても実施できます。

プログラムの更新は、ProcessX Web の全てのユーザがログアウトしている状態で実施してください。  
また、他のユーザやプログラムがサーバを使用していない状態で行ってください。

## 1.2 更新インストーラの用意

(1) 下記ダウンロードサイトより、最新の ProcessX Web 更新インストーラをダウンロードしてください。

<http://www.yu-jcl.co.jp/pxw/download.html>

インストーラは、次の名前で圧縮された ZIP 形式ファイルです。

更新インストーラには 32bit マシン用、64bit マシン用の区別はありません。

PxWebSetup\_Update\_2.0.0.0.zip

※ 2.0.0.0 の部分は、バージョン番号により異なります。

- (2) ダウンロードした ZIP ファイルを解凍してください。

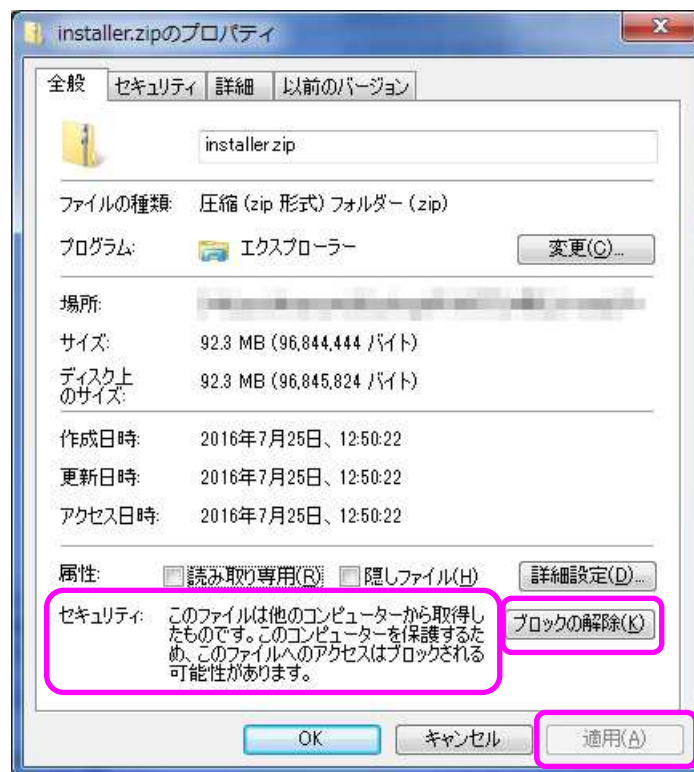
次のファイルが同梱されています。

installer.zip	: インストーラの ZIP 圧縮ファイル
release_node.pdf	: リリースノート

- (3) インストーラの ZIP 圧縮ファイルを解凍する前に、必ず以下の操作を行ってください。

Installer.zip ファイルを右クリックして、コンテキストメニューを呼び出します。

メニューから「プロパティ」を選択すると、次のダイアログが現れます。



- (4) ダイアログ下部の「セキュリティ」の欄に、

「このファイルは他のコンピュータから取得したものです。．．．．」

のメッセージが表示されているときは、右側の「ブロックの解除」ボタンを指定し、下側の「適用」ボタンを押してください。

この警告がついたままでファイル解凍すると、インストール処理がエラー終了する場合があります。

- (5) 次に、installer.zip ファイルを解凍します。

解凍パスワードを求められるので、「pxw2」と入力します。

更新インストーラは、次のようなファイル／フォルダで構成されています。

pxweb_set_up.exe	: インストーラの起動コマンド
ファイアウォール	: ファイアウォール設定用フォルダ
PXW	: ProcessX Web 本体インストーラフォルダ

### 1.3 更新インストーラの実行

更新インストーラのフォルダ内にある「pxweb\_set\_up.exe」を実行してください。

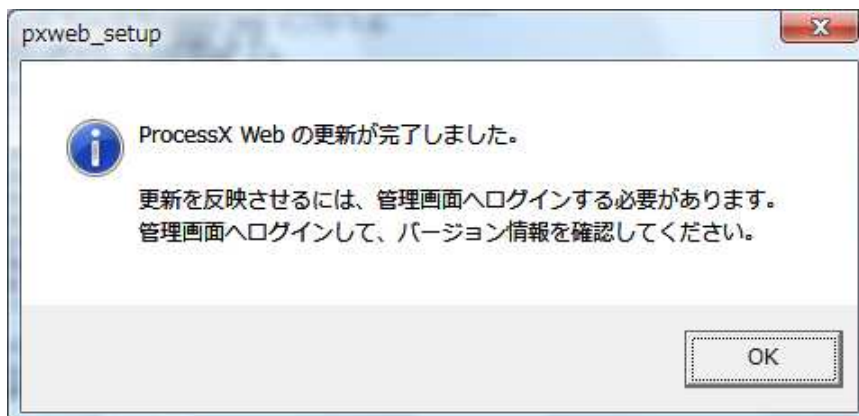


以下のダイアログが現れるので、

「ProcessX Web のプログラム更新」  
を選択して、「次へ」ボタンを押してください。



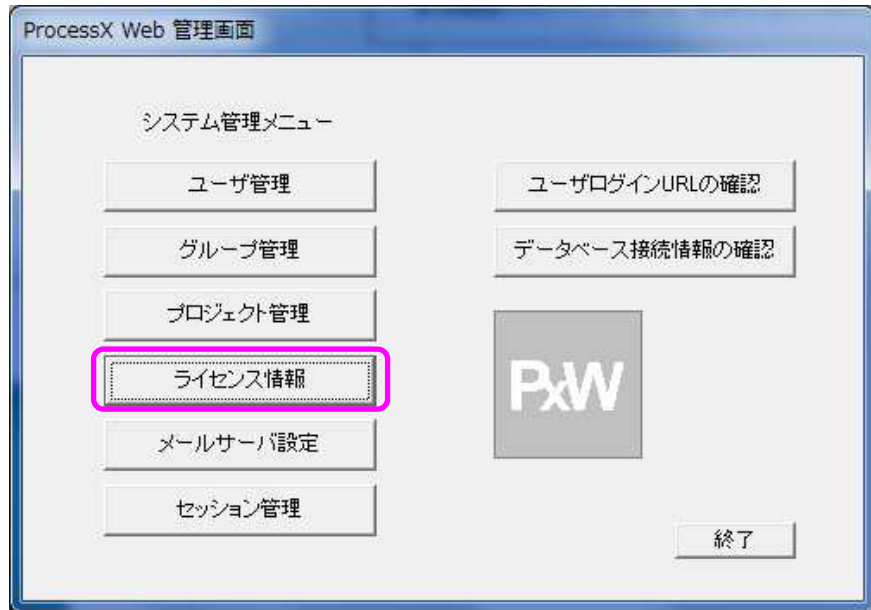
以後は、インストーラの指示に沿って、ProcessX Web プログラムの更新が行われます。  
更新が完了すると、以下のダイアログが表示されます。



「OK」ボタンを押すと、この後、しばらくして自動的に管理画面が起動します。

もし、自動で起動しない場合は、Windows メニューから起動してください。

管理画面にログインして、ライセンス情報のバージョンが正しく更新されていることを確認してください。



更新を実行した後、管理画面にログインした時点で更新処理が完了します。

管理画面にログインしないと、更新が正しく完了しないので注意してください。

## 1.4 Web ブラウザのキャッシュのクリア

Web ブラウザは、ダウンロードしたコンテンツをキャッシュに保存し、次に同じコンテンツにアクセスする際にキャッシュ上に同じコンテンツがあれば、新たなダウンロードを行わないような機能を持っています。

ProcessX Web のプログラム更新をしたとき、更新前のプログラムのコンテンツがキャッシュされていた場合、動作に不整合が生じて、予期しないエラーが発生する場合があります。

ProcessX Web の更新を行った後は、使用しているクライアントの Web ブラウザのキャッシュ(インターネット一時ファイル)をクリアしてください。

キャッシュのクリアについては、使用している Web ブラウザの設定画面を参照してください。

以下に代表的なブラウザのキャッシュのクリア手順を記載します。

なお、バージョンアップにより、メニュー構成などが変更になる場合があります。

### (1) Firefox

「メニュー」→「オプション」→「詳細」→「ネットワーク」を選択します。

「キャッシュされた Web ページ」にある「今すぐ消去」ボタンを押します。



## (2) Google Chrome

「Chrome メニュー」→「設定」→「詳細設定を表示」→「閲覧履歴データの消去」を指定します。  
現れたダイアログで「キャッシュされた画像とファイル」をチェックし「閲覧履歴データを消去する」ボタンを押します。

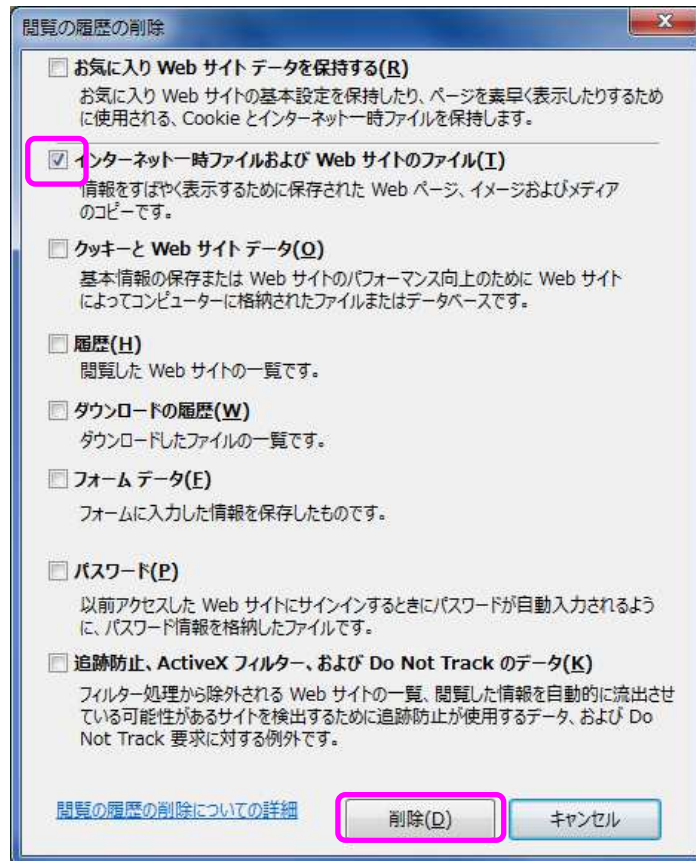




(3) Windows Internet Explorer

「ツール」 → 「インターネットオプション」を選択します。

「閲覧の履歴」にある「削除」ボタンを押し、現れたダイアログで「インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル」をチェックし、「削除」ボタンを押します。



## 2 困ったときには

インストールや動作確認で上手くいかない場合は、まず、以下のドキュメントを参照し、項目に該当がないかどうか確認してください。

ProcessX Web システム管理マニュアル 「8 章 困ったときには」

これで解決できない場合は、ProcessX Web サポート宛に遠慮なくお問い合わせください。